

別添3（第4の1関係）

令和3年度学校給食用牛乳供給円滑化推進事業のうち
学校給食用牛乳供給推進会議の実施結果
(北海道農政事務所)

1. 令和3年度 北海道学校給食用牛乳推進会議（書面）

都道府県名 項目	北海道
(1) 会議等の名称	北海道学校給食用牛乳推進会議（書面）
(2) 日時	令和4年3月7日（月）
(3) 場所	（一社）北海道乳業協会会議室
(4) 参加機関と人数	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道農政生産振興局畜産振興課酪農グループ（書面） ・北海道教育庁学校教育局健康・体育課学校給食グループ（書面） ・ホクレン農業協同組合連合会酪農部生乳共販課（書面） ・北海道学校栄養士協議会（書面） ・一般社団法人北海道乳業協会
(5) 議題	<ul style="list-style-type: none"> ①令和3年度学校給食用牛乳供給推進事業の進捗状況について ②令和4年度学校給食用牛乳供給推進事業の計画について ③令和3年度学校給食用牛乳等支援事業進捗状況について ④令和4年度学校給食用牛乳等支援事業計画について ⑤その他
(6) 概要	<ul style="list-style-type: none"> ①令和3年度学校給食用牛乳供給推進事業の進捗状況について 令和4年2月28日現在での進捗率72%であること等の文書を送付。 ②令和4年度学校給食用牛乳供給推進事業の計画について 全国会議(WE B会議)の資料に基づき文書を送付。昨年から変更となりました学校給食用牛乳の安定需要確保対策事業について、今年度は1本当たりの単価が変更となった旨伝える。算出方法は昨年同様、遠隔地、離島など供給条件の不利な地域（地域振興8法に基づく指定地域）を対象に掛かり増し経費の一部を支援する旨記載。 北海道は地域指定8法のその他地域指定にあたり、145区域のうち119地区が対象となる。（補助額:1本につき0.47円(去年は0.5円)） 新規飲用牛乳推進事業については、今年度は対象校なし。（補助額:1本につき4.8円） ③令和3年度学校給食用牛乳等支援事業の進捗状況について 今年度も思うような活動はできなかったが、3年ぶりに3月に講師を招き、70名規模のセミナーを開催。コロナ感染症対策もしっかり守り、特に問題はでなかった。

	<p>④令和4年度学校給食用牛乳等支援事業の計画について 令和4年度は通常に戻らないまでも、昨年より事業を開催できると考え、セミナー及び乳和食料理講習会等の行事を入れているが、今後の状況により判断する。</p> <p>⑤その他 牧場・乳業ふれあい体験事業及び空パッキリサイクル事業については、令和3年度もコロナ禍により、日にちの変更があったり、実施取りやめになった学校が多数あった。また、認証牧場側も受け入れできない事情もあったが、22校が実施することができた。 毎年、学校・牧場等からは是非来年もという声があり、状況を鑑みやはり実際見て、触れての体験及び感動には代えられず、今年度も出来る範囲で支援していきたい。</p>
(7) 成果	今年も、書面にての開催だったが各機関へは同意書ももらい、理解してもらえた。引き続き各機関とは連携をとり進めていきたい。

2. 令和3年度 学乳供給事業担当者会議(WEB開催)

項目	都道府県名	北海道
(1) 会議等の名称		学乳供給事業担当者会議(WEB 開催)
(2) 日時		令和4年3月8日(火)
(3) 場所		第二水産ビル3階G会議室
(4) 参加機関と人数		倉島乳業(株)、サツラク農業協同組合、新札幌乳業(株)、(株)豊富牛乳公社、中標津町農業協同組合、(株)のぼりべつ酪農館、(株)べつかい乳業興社、北海道乳業(株)、北海道保証牛乳(株)、(株)牧家、雪印メグミルク(株)、よつ葉乳業(株)、ノースプレインファーム(株)、北海道教育庁学校教育局、北海道農政部生産振興局、(一社)北海道乳業協会
(5) 議題		<p>①北海道学校給食用牛乳供給実施方針について</p> <p>②北海道学校給食用牛乳供給事業に係る供給価格等決定要領について</p> <p>③令和4年度供給価格等の決定に係る事項について</p> <p>④その他</p>
(6) 概要		<p>①北海道学校給食用牛乳供給実施方針について 実施方針については昨年度から変更はなし。</p> <p>②北海道学校給食用牛乳供給事業に係る供給価格等決定要領について 決定要領及び実施細則に基づき、道庁学乳担当者が説明。 農林水産省からのQ&Aも併せて説明。</p> <p>③供給価格等の決定に係る事項について</p>

	資料を配布のうえ説明。また、今後の日程について価格決定会議の変更等を説明。 ④その他 令和4年度の学乳推進事業の見直し等について、道庁担当者と当協会で説明。
(7) 成果	理解が得られた。

3. 実態調査等

項目	都道府県名	北海道
(1) 名称		実態調査等
(2) 日時		令和3年4月1日から令和4年3月31日
(3) 場所		(一社)北海道乳業協会
(4) 調査実施主体		(一社)北海道乳業協会
(5) 調査目的		学乳事業の効率的な遂行
(6) 概要		<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度の学乳事業の啓発 ・関係機関との連絡調整 ・「配送効率化に向けた実証の取り組みの実態」のパンフレットを作成
(7) 成果		<p>令和3年度事業に係る関係機関との情報共有により、円滑な実施ができた。</p> <p>学乳のトラックや人員の確保、配送車の採算、保管の安全性について、納品時間や隔日配送も今後柔軟に考えてもらえるように、配送効率について他の供給業者の意見も聞き、各教育委員会・学校等向けへのパンフレットを作成。パンフレットに行政の名称が入っていることで効果は大きく、供給事業者が学校側に話をしやすいという意見があった。</p>